

この資料では、SpamTitan バージョン7.09のリリースノートの内容を説明します。

アップデート バージョン	バージョン 7.09
配布日(日本国内配布日)	2020年 9月 30日
アップデート方法	オンラインによるアップデート
アップデートに必要な条件	1 Ver 7.08へアップデートが完了していること。
	2 インターネットへ接続していること。
	3 アップデートのリトリブ(ダウンロード)が完了していること。
	4 主記憶が最低4GB 確保されている事。(V7以降)
	5 受信キュー・アクティブキューにメールが滞留していないこと。
	6 MTAからのメールリレーを止めている事。
	7 できる限り、最新バージョンのブラウザをご使用下さい。
アップデートに必要な時間	約 10分程度(サーバ性能による)

サービス停止	あり
サービス停止時間	約 3分弱+再起動時間
メッセージのロスト	なし
作業中のメール受信	一時的に不可

システム自動再起動	なし
システム再起動時間	約 5分程度(ストレージの規模による)
ユーザーによる再起動	不必要
システム設定の継承	あり

注意点

- このアップデートを適用すると、これまで保存してきたバックアップファイルが使用できなくなります。バックアップファイルが同一バージョンでのみ適用可能である事は、本製品の仕様となります。
- メールの処理が停止する為、メールリレーは極力止めるようにしてください。
- アップデート作業中は、外部の送信者がメールを送信すると、送信者のSMTPサーバが送るべきメールを再送信キューへ一時保管し、特定時間毎に5日程度まで再送信を試みるため、そのメールはアップデート作業完了後に受信する事ができます。
- クラスタシステムの場合は、全てのノードを同一バージョンへアップデートする必要があります。
- アップデート作業中は、絶対にシステムの再起動を行わないでください。ベースOSのアップデートが含まれる為、必ず故障し、またリモートサポートでも修復不可能となります。

新機能

- 「let's 暗号化認証」の生成ができるようになりました。

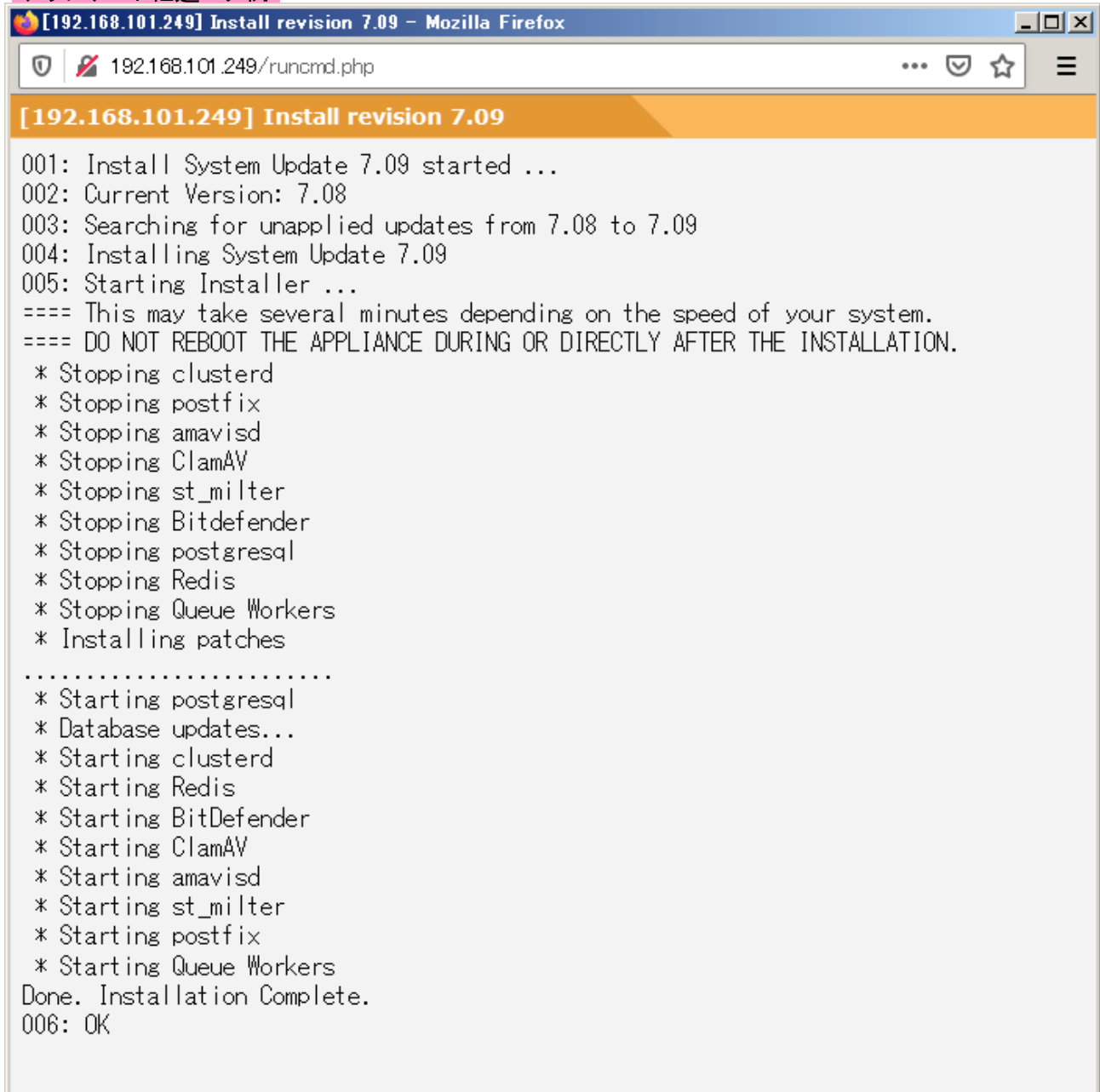
アップデート

- “Whitelist/Blacklist”が“Allow/Block list”に置き換えられました。
- “Master/Slave”が“Primary/Secondary”に置き換えられました。
- Spamtitan Milterで大きなメール処理のパフォーマンスが改善されました。
- バックアップの改ざん防止として暗号化されます。

バグ修正

1	サンドボックス使用の3つの問題の修正
	① user/adminがウイルスをリリースできる権利がある場合、予想どおり、サンドボックスメールがリリースできるようになりました。
	② 5回以上の処理失敗時、サンドボックスメールは自動でリリースされます。
	③ サンドボックスメールの全ての添付ファイルは並列にスキャンできるようになりました。
2	バックアップの問題点修正。
3	V7.08で導入されたデグレードの修正 (GUI-AdminパスワードとCUI-adminパスワードが一致しない問題点の修正)

アップデート経過ログ例



```
[192.168.101.249] Install revision 7.09
001: Install System Update 7.09 started ...
002: Current Version: 7.08
003: Searching for unapplied updates from 7.08 to 7.09
004: Installing System Update 7.09
005: Starting Installer ...
==== This may take several minutes depending on the speed of your system.
==== DO NOT REBOOT THE APPLIANCE DURING OR DIRECTLY AFTER THE INSTALLATION.
 * Stopping clustered
 * Stopping postfix
 * Stopping amavisd
 * Stopping ClamAV
 * Stopping st_milter
 * Stopping Bitdefender
 * Stopping postgresql
 * Stopping Redis
 * Stopping Queue Workers
 * Installing patches
.....
 * Starting postgresql
 * Database updates...
 * Starting clustered
 * Starting Redis
 * Starting BitDefender
 * Starting ClamAV
 * Starting amavisd
 * Starting st_milter
 * Starting postfix
 * Starting Queue Workers
Done. Installation Complete.
006: OK
```

